

～ DME（ジメチルエーテル）を知っていますか？～

交通環境部

去る11/17に紹介された、「提案型実証運行モデル事業」の3.5t積みトラック実証運行試験に使用されている「新規低公害燃料」（液化燃料）です。

DMEの特性は

「環境にやさしい：PMが発生しない。NO_xが少ない。CO₂発生が少ない。」

「多様な資源から生産可能：天然ガス、石炭、バイオマス等から生産できる。」

「輸送・貯蔵が容易：既存施設（LPガス：約6気圧で液化）を利用できる。」

「様々な用途に利用可能：発電・輸送燃料、原料（新潟では、工場ボイラー燃料等に使用）。」

漏れた場合でも空気中に拡散し危険物質は無し（スプレー缶の噴射剤として実証済み）。

実証運行を行なっている新潟運輸（株）は、当部が担当している省エネ法（エネルギーの使用の合理化に関する法律）により、特定貨物輸送事業者（車両数200両以上の事業者）として指定され、毎年度「省エネ計画の作成・提出」及び「エネルギー使用量の報告」が求められ、エネルギー使用の原単位（KL/万トキ）の低減（年平均1%以上）の努力義務が課せられている事業者であります。



また、昨年9月に省エネ法に基づく実地調査を行なった際にも「原単位低減」に苦慮されている状況を伺ったばかりです。

実証運行が開始されておよそ2か月が経過した2月8日、同社新潟支店を訪れ、車両の運転、管理に係わる担当の方よりお話を伺って来ましたので報告致します。

運転にあたっては、毎日 150~250km の医薬品輸送を行なうに当り、通常のディーゼル車両に比べて不都合とを感じる状況は全く無く、順調に運行されているとのことでした。エンジン始動に 5 秒間の待機時間が必要であるほかは、静粛性、振動も低減され好印象とのことでした。燃費については、冬期間であるにもかかわらず上々の数値であり、春以降は更に期待がもてるとの感想でした。(排気ガスは、無色透明・無臭)

充填に係る時間も、走行距離 200km 分の補填で 5 分程度と思いのほか短時間でした。
(航続距離 500~600km、タンク容量 135L×2)

車両管理にあたってはトラブルもほとんど無く、燃料の特性から設備する必要のない「DPF」や「尿素SCR」等の管理が不要であることも利点との事でした。今月末から 2 週間、車両の提供元「いすゞ中央研究所」でのチェックを受け、今後 3 年間、実証運行を行なうとのことでした。

DME 車両は「CO₂排出量」の低減が期待でき、省エネ法の対応にも大きく寄与出るので早期普及を願うとのお話を伺って来ました。

皆さん、今後の [DME] に注目くださいませ。